

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：大学費 目：情報科学芸術大学院大学費

## 事業名 大学機能活用推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 情報科学芸術大学院大学 電話番号：0584-75-6600

E-mail：c21905@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額： 10,000 千円)

### <財源内訳>

| 区 分 | 事業費    | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |        | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 10,000 | 10,000     | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 要求額 | 10,000 | 10,000     | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |
| 決定額 | 10,000 | 10,000     | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 0          |

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

厳しい県の財政状況を踏まえ、教育研究関係経費が削減されるなか、国の各種補助金をはじめとする外部資金を活用した事業を推進する。  
しかしながら、国庫補助事業の多くが、年度末から年度当初にかけて募集があり、採択結果が判明するのが5～7月頃のため、採択から9月補正予算成立までの間において、事業が円滑に推進できない。

### (2) 事業内容

国庫補助事業等外部資金の有効活用により、メディア芸術作品の保存および利活用や、メディア芸術分野における産学館(官)連携・協力による新領域創出や調査研究を実施することで、より高度な水準の調査研究等、外部向け情報発信機能を充実させる。

これらの事業に取り組むことで、それに関わる人材育成も図り、実践ノウハウを踏まえたIAMASの教育カリキュラムの拡充を図る。

→採択が未確定な国庫補助事業を一括管理し、円滑な事業推進を図る

<採択結果を踏まえた予算整理は9月補正で対応>

### (3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助・委託金(10/10)

### (4) 類似事業の有無

### 3 事業費の積算 内訳

| 事業内容  | 金額     | 事業内容の詳細                     |
|-------|--------|-----------------------------|
| 報償費   | 5,000  | アーティスト招へい、研修会講師等            |
| 旅費    | 500    | 業務旅費（山口市、仙台市、東京都等想定）        |
| 消耗品費  | 300    | イベント等消耗品                    |
| 印刷製本費 | 200    | チラシ等資料作成                    |
| 役務費   | 450    | 資材等運搬費 等                    |
| 保険料   | 50     | 来場者保険料                      |
| 委託料   | 3,000  | イベント会場設営業務委託、映像制作・デザイン等委託 等 |
| その他   | 500    | 会場使用料 等                     |
| 合計    | 10,000 |                             |

|                |
|----------------|
| <b>決定額の考え方</b> |
|                |

### 4 参 考 事 項

#### （１）後年度の財政負担

来年度以降も国庫補助事業等外部資金を活用し、大学が持つ教育研究成果に基づく機能を積極的に活用した事業に取り組んでいく。

#### （２）事業主体及びその妥当性

事業主体：情報科学芸術大学院大学

本校では、最新の科学技術や文化を吸収しながら、先端的な芸術表現や、新しいコミュニティやものづくりのあり方などを社会に提案し、実践的な研究を通じて「高度な表現者」の育成を目指している。当事業では、この理念にあった先端的な、より高度な水準の調査研究等を実施し、外部と連携・協力することによる人材育成も図ることができる。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国庫補助事業等を活用して、I AMAS の有する先端的な芸術表現や新しいものづくりなどの機能を県内外に広くPRすることで、地域産業や地域社会と連携した取り組みの拡大につなげる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前<br>(R ) | R6年度<br>実績 | R7年度<br>目標 | R8年度<br>目標 | 終期目標<br>(R ) | 達成率 |
|-----|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
|     |               |            |            |            |              |     |
|     |               |            |            |            |              |     |

### ○指標を設定することができない場合の理由

外部資金の積極的な活用を推進するものとするが、国庫補助メニューと本学の教育研究目的の整合等により多様なパターンが想定されるため、具体的な数値目標を設定することが適当でない。

### （これまでの取組内容と成果）

|       |   |
|-------|---|
| 令和5年度 | 国庫補助事業等外部資金を有効に活用することによって、先端的な、より高度な水準の調査研究等を実施し、外部と連携・協力することによる人材育成を図る。（採択はなかった） |
| 令和6年度 | 国庫補助事業等外部資金を有効に活用することによって、先端的な、より高度な水準の調査研究等を実施し、外部と連携・協力することによる人材育成を図る。（採択はなかった） |
| 令和7年度 | 令和9年度当初予算にて追加   |

